



地域リハビリテーション支援拠点の 活用について



地域リハビリテーションの推進

できないことを代わりにするのではなく、
できることを増やして、
いきいきと暮らし続けられるように・・・



座る・立つ・歩く等が
できるように訓練する。

食事・排せつ・着
替え・入浴等がで
きるように、本人
への働きかけと
環境調整をする。



機能回復訓練

日常生活支援

医師
看護師

歯科医師
歯科衛生士

栄養士

リハビリ
専門職

介護福祉士
ホームヘルパー

家族
ボランティア

高齢者施設等



ケアマネジャー
相談支援専門員

薬剤師

社会参加支援

区役所

生活活動支援

地域の中に生きが
い・役割をもって生
活できるような居
場所と出番づくり
を支援する。



地域包括支援
センター

掃除・洗濯・料理・
外出等ができるよ
うに、働きかけと環
境調整をする。



- (1) 川崎協同病院
- (2) 総合川崎臨港病院
- (3) 介護老人保健施設千の風・川崎
- (4) 介護老人保健施設樹の丘
- (5) 介護老人保健施設たかつ
- (6) 老人保健施設レストア川崎
- (7) 介護老人保健施設よみうりランドケアセンター
- (8) 麻生リハビリ総合病院



地域リハビリテーション支援拠点のご案内

(川崎市委託事業)

事業概要

リハビリ専門職が、ケアマネジャーや施設・事業所からの相談に応じ、助言を提供します。

支援内容

- 身体・認知機能や生活環境に関する相談
- 医療に関する助言
- 介護サービス・ケアの方法に関する助言
- 福祉用具・住宅改修に関する助言

新たに認定を受けた方または病院や施設から退院・退所した方を対象として、概ね3か月間程度支援します。

支援方法

- 利用者宅への訪問
- カンファレンスへの出席
- 事業所への訪問

利用手続き

1. 地域リハビリテーション支援・申込書を記入し、FAXかメールで送信
2. 電話により、生活や住まいの状況を伺った上で、訪問・カンファレンス等の日程を調整
3. リハビリ専門職が相談に応じながら助言を提供

利用料無料

契約手続き不要

報酬の算定対象

- 介護予防ケアマネジメント 地域リハビリテーション連携加算
- 介護予防訪問・短時間通所サービス 生活機能向上連携加算(市独自)
- 居宅介護サービス・介護予防通所サービス 生活機能向上連携加算(国制度)

申込・問合せ先

拠点事業所名 【所在区】	電話/FAX メール 【電話受付時間: 平日9:00~17:00】	拠点事業所名 【所在区】	電話/FAX メール 【電話受付時間: 平日9:00~17:00】
川崎協同病院 【川崎区】 <small>※居宅介護サービス等の加算は対象外</small>	080-4834-5717/277-9857 kyodo-kyoten@kawaiyo.or.jp	介護老人保健施設 たかつ 【高津区】	741-3077/741-3008 nose-team4@souunkai.com
総合川崎臨港病院 【川崎区】	080-5670-9683/244-4791 rihakyoten@rinko.or.jp	老人保健施設 レストア川崎 【宮前区】	976-7111/976-6692 rk-chiikiriha@restore-k.jp (
介護老人保健施設 千の風・川崎 【幸区】	080-2264-6882/511-0466 sen.kaze-tiikiriha@kenjin.or.jp	介護老人保健施設 よみうりランドケアセンター 【多摩区】	948-1611/948-1612 yomikyoten@landcare.jp
介護老人保健施設 樹の丘 【高津区】	820-0350/820-1350 kinooka@kawaiyo.or.jp	麻生リハビリ総合病院 【麻生区】	981-6832/577-7797 info_reha_asaorehabili@souseikai.net

※お近くの拠点事業所であれば、どこでも相談をお受けします。相談内容に応じて、担当する拠点事業所を調整する場合があります。

ケアマネジメント支援の流れ

地域リハビリテーション支援・申込書
(様式1)※をケアマネジャー等から地
域リハビリテーション支援拠点に送付
(FAX又はメール)

※電話等で事前にご相談の上、様式1を送付して
いただくことも可能です。

訪問やカンファレンスの日程をケアマネ
ジャー等と、地域リハビリテーション支
援拠点が電話等で調整

※訪問やカンファレンスへの同席を行う場合に実施
(相談内容によって、訪問やカンファレンスに同席せず、
電話等で回答する場合があります)

※1 地域リハビリテーション支援・申込書(様式1)

地域リハビリテーション支援拠点 用		様式1
地域リハビリテーション支援・申込書		
記入者		
申込者名(個人/施設)		
施設-事業所名称		
施設-事業所種別	<input type="checkbox"/> 居宅介護支援事業所 <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター <input type="checkbox"/> 介護施設-事業所 <input type="checkbox"/> その他()	
所在地	〒	
FAX/Fax		
対象者の概要: 本所事業の名称・住所の欄はマシンの読み取りを確実にするよう記載をお願いします。		
対象者-氏名	姓	性別
年齢		
療育施設	<input type="checkbox"/> 有 (療育施設) (療育施設) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 申請中	
障害者手帳	<input type="checkbox"/> 有 (種別-等級) () <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 不明	
治療中又は 主治医氏名	<input type="checkbox"/> 有 (病名) () <input type="checkbox"/> 無	
	<input type="checkbox"/> 不明	
相談内容(調っていること)		
◆介護者の有無 <input type="checkbox"/> 有 (本人との関係) () <input type="checkbox"/> 無		
相談希望内容(複数可)		
<input type="checkbox"/> 身体-動作機能や生活環境の相談	<input type="checkbox"/> 医師に関する相談	
<input type="checkbox"/> 介護サービスケアの方法に関する相談	<input type="checkbox"/> 福祉用具・住宅改修に関する相談	
<input type="checkbox"/> その他 ()		
お問い合わせの希望日-時間		
日時	() 時 () 分	
日時	() 時 () 分	
※お電話にて、生活や住まいへの相談をお願いします。		
訪問・カンファレンス等の希望日-時間		
日時	() 時 () 分	
日時	() 時 () 分	
電話番号	00(拠点番号)ー000(相談番号)	※各欄が必須です。

川崎市ホームページからダウンロードできます。

地域リハビリテーション支援拠点が、
訪問やカンファレンスに同席



地域リハビリテーション支援・提供書
(様式2) ※2を地域リハビリテーション
支援拠点が作成し、ケアマネジャー等に
提供



必要に応じて、フォローアップを実施

※フォローアップの期間は概ね3か月です。

※2 地域リハビリテーション支援・提供書(様式2)

地域リハビリテーション支援・提供書	
記入日	
生活圏	00-000(対象者番号)-00(提供番号)
申込者(個人/施設)	
施設(個人/名称)	
訪問日時	曜日
カンファレンス日時	曜日
その他の支援日時	方法 <input type="checkbox"/> ICT <input type="checkbox"/> その他()
申込書-同意書等	
支援内容	
今後の予定	
担当支援員名	
担当コーディネーター	
連絡先(TEL/FAX)	



地域リハビリテーション支援拠点と連携した際、加算を算定できる場合があります。

○介護予防ケアマネジメント費 地域リハビリテーション連携加算

居宅介護支援事業所と地域包括支援センターが算定可能

単位数：150単位(地域包括支援センター)

120単位(居宅介護支援事業所)

○生活機能向上連携加算

介護サービス事業所(介護予防訪問サービス、介護予防短時間通所サービス、介護予防通所サービス、居宅介護サービス事業所)が算定可能

単位数：100～350単位



事例 1



事例タイトル：変形性膝関節症のため歩行に不安のある独居高齢者

相談者：ケアマネジャー

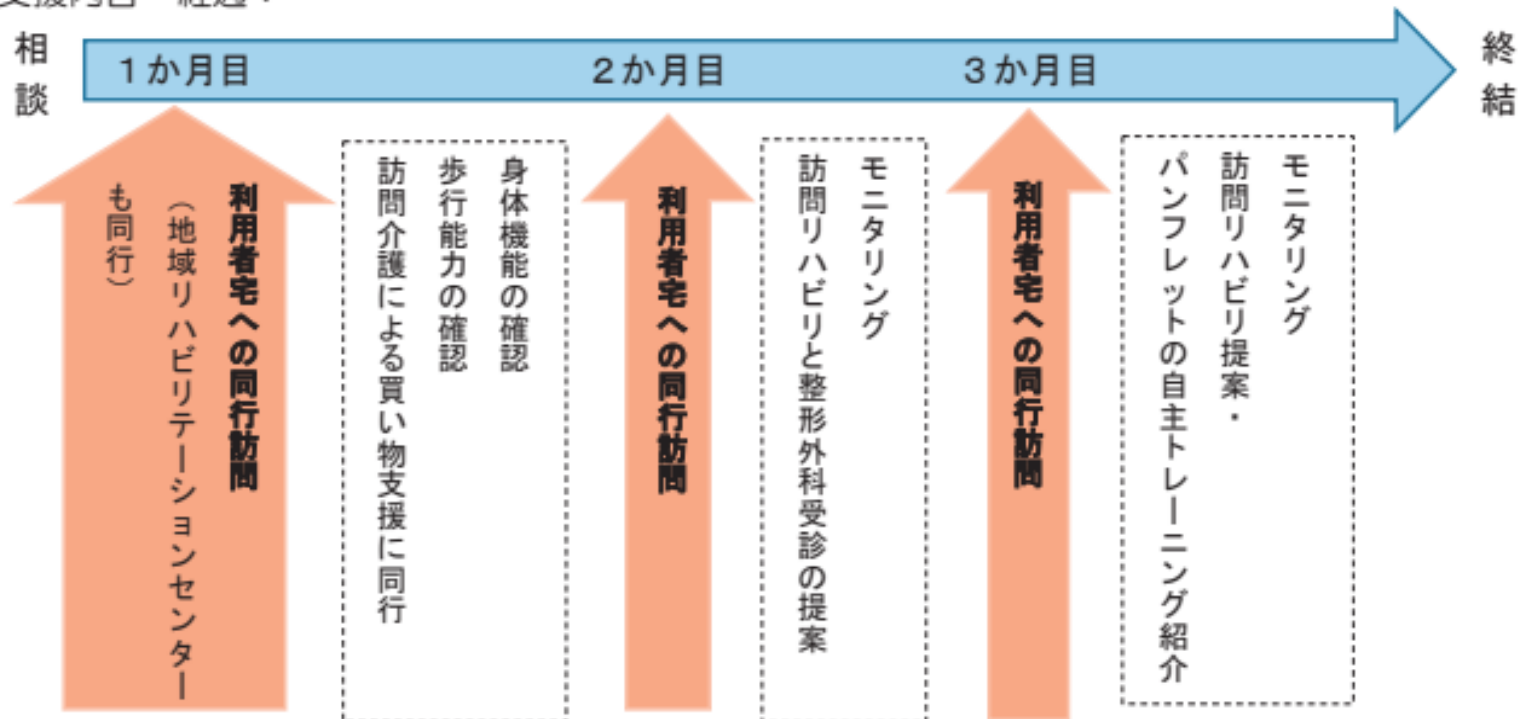
事例概要：80代女性 要介護2

訪問診療と訪問介護、配食サービスを利用。下肢体幹の変形によって布団からの立ち上がりにも困難さがあり、階段は後ろ向きで降り、庭は市販の杖をついて歩いている。

相談内容：歩行が安定せずこのままでいいのか不安です。歩行の状態や身体機能について助言をしてもらいたい。



支援内容・経過：



- 変形性膝関節症が重症化しており、痛みや変形がさらに進行する可能性があると思われました。
- ご本人には、整形外科の受診や訪問リハビリの導入をお勧めしましたが、消極的な様子だったので、変形性膝関節症の一般的なパンフレットを渡しながら、生活上の留意点や自主トレーニングの方法を紹介しました。
- ケアマネジャーには、姿勢の傾向や動作能力の予後予測を説明し、4点杖のレンタルを提案しました。



事例2



事例タイトル：退院後の生活支援が必要な認知症高齢者

相談者：地域包括支援センター

事例概要：80代女性 要介護1（区分変更中）

自宅で転倒し、大腿骨頸部骨折により入院している。

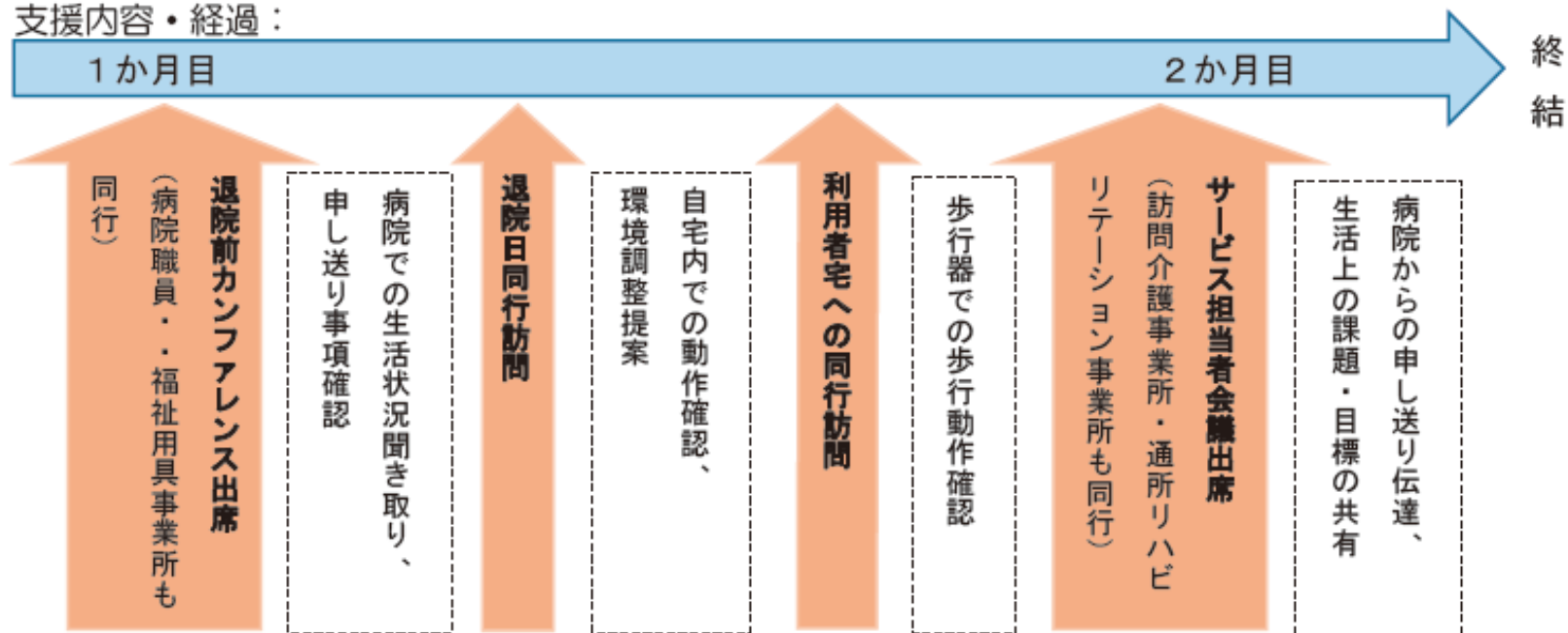
歩行器を使用すれば歩行安定しているが、認知機能の低下により、歩行器を忘れてしまうことがある。

娘と同居しているが、娘は就労しており、日中は一人になる。

相談内容：転倒による骨折で入院していますが、認知症の進行も見られます。退院後の生活やサービスについて、助言をお願いしたい。



支援内容・経過：



- 退院前カンファレンスに出席し、ご本人の状況を共有するとともに、退院に向けた対応を相談しました。
- 自宅を訪問して、手すりや歩行器の使用を検討するとともに、ご本人への適性や実際の歩行動作を確認しました。また、在宅生活を継続するための利用するサービスの相談、検討をしました。
- サービス担当者会議に出席し、訪問介護とデイケアの担当者に対して、ケアの目標や方法を助言しました。



地域リハビリテーション支援拠点に関するホームページ

●川崎市ホームページ(<https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000130785.html>)

トップページ→暮らし・手続き→福祉・介護→地域包括ケアシステムの構築に向けて

→地域リハビリテーション支援拠点のご案内



地域リハビリテーション支援拠点

検索

